

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		公共交通整備事業						予算事業名		公共交通整備事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分								
				02	01	15	11	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう							事業の区分		主要事業					
		快適で住みやすいまちづくり									重点事業					
		公共交通ネットワークの充実							担当課係等		企画政策課					
							公共交通整備係									
事業期間		継続 (平成16年度～ 年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
持続可能な公共交通網の構築により、利用者の利便性が向上すること。								市内を運行していた民間路線バスが廃止されたことから、その公共交通空白地域を補完するため、平成16年5月、市政50周年事業の一つとして開始した。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
・地域公共交通会議の運営 ・市内巡回バスの運行 (市内病院や公共施設等を結ぶ7路線を、月曜日～土曜日まで運行) ※安全・安定運行を確保するため、老朽化した車両を1台更新する (令和5～6年度)。 ・地域公共交通計画に基づく各実施事業の推進及び進捗管理 (計画期間：令和4年度～令和8年度) ・各種アンケート調査を踏まえ、計画全体の評価を実施し、実施事業見直し等、次期計画を策定する (令和8年度)								公共交通 (JR水戸線、路線バス、タクシー、巡回バス) を利用する方、市民								
								【事業をとりまく環境の変化】								
								巡回バスは、主に高齢者を対象として事業を実施してきたが、近年は利用者の多様化が進み、市の公共交通の一つとして重要な役割を担っている。令和2年10月には、安全性の向上、車両整備管理者及び乗務員の確保を図るため、巡回バスの運行管理を民間委託した。								
【令和6年度 事業内容】				【令和7年度 事業内容】				【令和8年度 事業内容】								
・市内巡回バスの安定運行 ・老朽化した車輛の更新 (No.682の代替) ・JR結城駅構内バリアフリー化整備工事負担金 ・地域公共交通計画に基づく各実施事業の推進 (バス停環境整備等)				・市内巡回バスの安定運行 ・地域公共交通計画に基づく各実施事業の推進 (バス停環境整備等) ・グリーンスローモビリティ試験運行 (イベント時)				・市内巡回バスの安定運行 ・地域公共交通計画に基づく各実施事業の推進 (バス停環境整備等) ・利用者アンケート、市民アンケート実施 ・結城市地域公共交通計画次期計画策定								
■事業費																
				R04年度		R05年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	1,000	0									
	一		般	財	源	39,526	35,489									
歳入計 (千円)				40,526		35,489										
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)										
	07	報償費			30	99										
	08	旅費			0	2										
	10	需用費			13	3,616										
	11	役務費			103	108										
	12	委託料			30,588	27,127										
	17	備品購入費			4,180	4,403										
	18	負担金補助及び交付金			5,596	117										
	26	公課費			16	17										
歳出計 (千円) (A)				40,526		35,489										
伸び率 (%)						-12.42										
備考	総合計画70ページ 予算書60ページ															

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	巡回バス運行回数	回	目標	10,762.00	9,860.00	9,826.00
	年間の巡回バス運行回数		実績	10,738.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	年間利用者数	人	目標	22,880.00	25,980.00	29,080.00
	年間の巡回バス利用者延べ人数		実績	24,236.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市内の医療機関、スーパー、公共施設等への移動手段の確保として必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市民等の移動手段の確保のため、行政で実施するのが適当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	運行管理を民間事業者へ委託したことにより、更なる安全性の確保、車両整備管理者及び乗務員の確保が図られている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	民間事業者に運行管理を委託したことにより、車両整備管理者の配置や運行安全性の確保が図れているが、事業者による巡回バス運転手確保のために人件費が上昇する可能性や軽油、ガソリンの高騰によりなど、委託料や燃料費の増加が見込まれる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	誰でも利用できるため偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	令和4年度の実績では、新型コロナウイルス拡大前の利用者数まで戻りつつある。令和5年度よりダイヤ改正とルート変更により巡回バス運行を開始しており、さらなる利用者数の増加も期待できる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	令和4年3月に策定された結城市地域公共交通計画に基づき、予定どおりのダイヤ改正やルート変更、巡回バス車両購入など計画的に事業を実施している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市民の重要な移動手段である公共交通として、巡回バスの安全運行の徹底や利用促進を図っていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
結城市地域公共交通計画の各種事業計画の推進と進捗管理を行い、目標の達成に向けて事業を進めていく。特に、事業が進まない案件に関しては、その問題点を分析し、改善すべき点は何であるかを明確にし、解決すべき点を検討する。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 少子高齢化社会の進展により、公共交通の果たすべき役割・ニーズは高まりを見せており、継続すべき事業である。巡回バスにあっては、住民の利用状況や費用対効果等を勘案し、適宜見直しを図り、利便性の高い運行を念頭に継続・拡充を図るものとする。地域公共交通会議や地域公共交通計画に基づき、本市の公共交通事業の先行きについて、模索していく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり